

第2期広島県スポーツ推進計画（素案）の概要

第1章 計画の策定に当たって

1 計画策定の趣旨

今年度、現行の「広島県スポーツ推進計画」（以下、「第1期計画」という。）が終了するのに伴い、次の5年間の計画期間とする「第2期広島県スポーツ推進計画」を策定する。

2 計画の位置付け

スポーツ基本法第10条に基づく計画として、また、国の「第2期スポーツ基本計画」（平成29（2017）年度策定）を勘案し、第1期計画策定後の状況変化などを踏まえ、策定するもの。

3 計画の期間

平成31（2019）年度からの5年間

4 計画におけるスポーツの意義

スポーツ概念を幅広く捉え、過大な負荷をかけなくても、うまくなくても、楽しみながら体を動かすことをスポーツとする。

第2章 スポーツを取り巻く広島県の状況と今後の取組の方向性

1 広島県の現状と課題

- ・少子高齢化の一層の進展
- ・地域コミュニティの衰退
- ・全国的に下位の健康寿命

2 今後の取組の方向性

- ・国の「第2期スポーツ基本計画」は、スポーツを通じた活力ある社会づくりを柱のひとつに掲げる。
- ・国内でも、スポーツの力を活用して、社会の様々な課題の解決に取り組んでいる事例が生まれつつある。
- ・この計画では、第1期計画で取り組んできたスポーツ振興に引き続き取り組むとともに、少子高齢化、地域コミュニティの衰退、健康寿命の低迷といった社会的な課題の解決に向けて取り組んでいく。

第3章 社会の課題解決に向けたスポーツの力の活用

この計画では、スポーツの内在的な力（楽しさや充足感を提供する力）のみならず、外在的な力（社会に対して働きかける力）を積極的に活用することにより、県民が健康と豊かさを実感できる、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会の実現に貢献する。

第4章 計画の基本事項

1 基本理念

スポーツを核とした豊かな地域づくり
～スポーツの力で社会を変える。未来へつなぐ。～

2 目指す姿（将来像）

県民の誰もがスポーツを楽しんでおり、スポーツの力によって、県民が健康と豊かさと幸せを実感できる、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会が実現されています。

3 四つの政策目標

政策目標	将来イメージ
I スポーツを通じた地域・経済の活性化	スポーツを楽しむため、国内外から地域に人が集い、交流することにより、地域に活気や豊かさが生まれています。
II スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大	県民が積極的にスポーツに取り組んでおり、健康で活力のある生活を満喫しています。
III 競技力の向上	多くの有望なジュニアアスリートが育ち、本県ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会で活躍しており、応援する県民に一体感や地域への誇りが生まれています。
IV スポーツを通じた、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会の実現	スポーツの力により、障害の有無や人種、国籍等を問わず、誰もが尊重される、平和で環境に配慮した社会が実現されています。

4 施策の体系

政策目標	施策の柱
I スポーツを通じた地域・経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた魅力ある地域づくりの推進 ・スポーツの成長産業化 ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化
II スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた健康寿命の延伸 ・子供のスポーツ活動の充実 ・活動を支える人材の育成とスポーツに親しむ機会・場の充実
III 競技力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化 ・障害者スポーツのトップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化 ・選手をサポートする体制・環境の充実
IV スポーツを通じた、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた、多様で寛容な社会づくりの推進 ・スポーツを通じた平和の推進 ・スポーツを通じた環境に配慮した社会づくり

5 成果指標

政策目標	施策の柱	成果指標	現状(平成30 (2018)年度)	2023年度
I スポーツを通じた地域・経済の活性化	1 スポーツを通じた魅力ある地域づくりの推進	スポーツによる地域の活気の創出や豊かさの実現度合い(定性)	—	スポーツに関する取組により、地域に活気や豊かさが生まれている。
	2 スポーツの成長産業化			
	3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化			
II スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大	1 スポーツを通じた健康寿命の延伸	20歳以上の県民のスポーツ実施率(週1回以上)	47.9%	65.0% ※2021年度の国の目標値であり、同年度での達成を目指す。 ※2023年度の目標値は、2021年度の実績値をみた上で設定する。
	2 子供のスポーツ活動の充実			
	3 活動を支える人材の育成とスポーツに親しむ機会・場の充実			
III 競技力の向上	1 トップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化	・国民体育大会における男女総合成績(うち少年の部成績) ・全国障害者スポーツ大会の成績[メダル獲得率]	18位 (27位)	8位 (14位)
	2 障害者スポーツのトップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化			
	3 選手をサポートする体制・環境の充実			
IV スポーツを通じた、多様性が尊重される、平和で持続可能な社会の実現	1 スポーツを通じた、多様で寛容な社会づくりの推進	人権・平和・環境とスポーツが連携したイベント数	2件	15件
	2 スポーツを通じた平和の推進			
	3 スポーツを通じた環境に配慮した社会づくり			

第5章 目標達成に向けた施策展開

政策目標 I スポーツを通じた地域・経済の活性化

1 スポーツを通じた魅力ある地域づくりの推進

- (1) 地域のスポーツ資源の活用・発掘
- (2) 地域が一体となった推進体制の構築

2 スポーツの成長産業化

- (1) 多彩なスポーツ大会やイベントの誘致・開催を通じた地域活性化
- (2) 他分野(観光・健康・食など)との連携促進
- (3) スポーツ施設の整備・活用を通じた地域活性化

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化

- (1) 事前合宿受入・交流を通じた地域活性化
- (2) 開催後のレガシーを活用した地域活性化

政策目標Ⅱ スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大

1 スポーツを通じた健康寿命の延伸

2 子供のスポーツ活動の充実

- (1) 幼児期における体を動かす遊びの充実
- (2) 学校教育の充実
- (3) スポーツ環境の整備

3 活動を支える人材の育成とスポーツに親しむ機会・場の充実

- (1) スポーツ参画人口の拡大を支えるスポーツ人材の育成
- (2) スポーツの楽しみや喜びを知ってもらうための機会の創出
- (3) 身近にスポーツを楽しめる場・施設の拡大・充実
- (4) 健康科学・スポーツ医科学の知見の積極的な活用

政策目標Ⅲ 競技力の向上

1 トップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化

- (1) ジュニア選手の早期発掘
- (2) 選手の効果的な育成・強化
- (3) 指導者の確保（育成・招へい）

2 障害者スポーツのトップアスリートの戦略的な発掘・育成・強化

3 選手をサポートする体制・環境の充実

- (1) 効果的なトレーニング等のためのスポーツ医科学の知見の積極的な活用
- (2) 競技団体，県体育協会，県障害者スポーツ協会との連携強化
- (3) スポーツ・インテグリティの推進
- (4) スポーツ施設の整備・改修

政策目標Ⅳ スポーツを通じた，多様性が尊重される，平和で持続可能な社会の実現

1 スポーツを通じた，多様で寛容な社会づくりの推進

- (1) スポーツを通じた多様性が尊重される社会づくり
- (2) スポーツ施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進

2 スポーツを通じた平和の推進

3 スポーツを通じた環境に配慮した社会づくり

第6章 計画の着実な推進と進行管理

1 計画の着実な推進

四つの政策目標の達成に向けて，教育，健康福祉，観光等の他分野や県内市町と連携を図りながら，政策効果の高い取組を検討し実現していきます。

2 計画の進行管理・評価・見直し

スポーツを巡る最新の動向を把握しつつ，国内外の第一線の有識者に事業の進め方について，助言を仰ぎながら，取組を進めていきます。